

第 94 回イノベーション交流分科会議事録

日時：2025 年 9 月 10 日（水）18：00－20：00

開催：オンライン

講師：クリスチャン シュミット PDIE 代表

講演題目：PDIE のグローバルイノベーションネットワークによるネイチャーポジティブな展開について

講演概要；

1. イントロダクション

- シュミット氏はドイツ人で、1997 年日本に留学、日本語と経済学を修得
- 1998 年～2005 年は、Bayer でプロダクトマネージャーとしてイノーバと言う除草剤と散粒機を販売。その後、BASF を経て、Henkel では化粧品を担当
- 2005 年～2009 年：Hulsta という家具メーカーの日本代表を 4 年間務める
- 2009 年にコンサルティングファーム AVENTA を創業
- URIMAT、Quchy 等スタートアップへの投資で VC や投資に関する知識、経験を習得
- 2017－2019 年 World Innovations Forum を運営
- この経験により課題解決型のイノベーションを推進したいと考え、2022 年一般社団法人 PDIE (Purpose Driven Innovation Ecosystem) グループを設立

2. PDIE とは

- Purpose Driven Innovation は、自然と人間やテクノロジーとの調和をいかに作るかと言う事
- 2020 年代の課題は、貧困の格差、気候変動。文化格差、回復力・グローバル協調への挑戦、AI・ビッグデータ・IOT の発展、地域限定的な事
- PDIE のビジョンは、意識・技術イノベーション・政策を通して明るい未来を共創する事
- 連携（Connect）→分析（Scan）→集中（Focus）→実行（Act）のプロセスに従い、関係を葛城、目的を見つける
- Purpose Driven、Market Driven、Technology Driven、Design Driven、Efficiency Driven Innovation の違いを検討した後、Purpose Driven Innovation がどんな手段にも適していると考えた
- 長期に地球規模の問題を解決、また優秀な社員の長期定着率を実現出来る
- 深い哲学的な根拠を持つのであらゆるステークホルダーにとって分かり易い
- パタゴニア（地球を救う為のビジネス）、テスラ（世界を持続可能なエネルギーに移行させる）、ユニリーバ（サステナブルな暮らしを当たり前にする）、Tony's Chocolonely（チョコレートが 100% 奴隷労働の無いものにする）社がパーパスドリブンイノベーションの 4 つの代表的な企業例

3. PDIE の活動内容

- PDIE グループは、Purpose Driven Innovation として、再生可能エネルギー、クリーンウォーター、食品・アグリテック、循環型経済にフォーカスしている。
- PDIE インスティテュートはシンクタンク機能や教育、出版等、PDIE コンサルティングはリーダーの意識改革

や国際化の推進、投資マッチングを。PDIE エコシステムは、イベント開催によるエコシステム構築や PDIE ベンチャーの育成やプロジェクトの推進を行っている

- The Earthshot Prize（月に行くのではなく、地球の問題を Fix する）には、自然保護、大気洗浄、気候変動修復、海を蘇らせる（ブルーカーボン）、ゴミの出ない世界を作る、の 5 つのカテゴリがある
- The Earthshot Prize に PDIE グループが推奨するスタートアップが多数参加
- 2021 年の Earthshot Prize のウイナーは Enapte 社。 AEM 電解装置の量産化
- PDIE グループが Climate Launchpad を主催、スタートアップを育成
 - ✓ オマーンの企業：二酸化炭素の回収と貯蓄、大気中の CO2 の回収、メタン対策
 - ✓ Urchinomics：ブルーエコノミー、ウニのエコシステムバランスを整える事で海藻のエコシステムを保守
 - ✓ NFW（Natural Fiber Welding）：テキスタイルを 100% 自然素材から製造
 - ✓ スイスの会社：医療用オートインジェクターの解体システムの開発
 - ✓ オランダの会社：日本で都市から離島へのドローンが必要な場所に医薬品を届ける。
 - ✓ 病院ロボット：ロボットによるスタッフサポート

4. PDIE の発展

- GRIA(Global Regenerative innovation Alliance)は都市、イノベーター、投資家、学術機関、企業を繋ぐコンソーシアム
- 9 月 19 日に NYC でマニフェストを策定予定
- その後 2025 年 11 月ベルリン、2026 年にはダボス会議、パチカンではローマクラブと共同で活動を推進
- 2026 年 5 月には東京でサミットを開催予定

質疑応答：

質問

- Purpose を見つけるための Why をどう探すのか？ 企業から見ると Why は消費者のトレンド
- PDIE の会費は？ スタートアップ 2000 \$：企業 5000 \$：学生・研究者メンバー（含個人）100 \$
- PDIE のビジネスモデルは？ メンバーシップとマッチング（投資家、国内外スタートアップの進出サポートやイキティ成果報酬）、コンサルティング、教育プログラム
- 国際マーケットを目指す際の留意点は？ 国際市場に出るためには、マーケティングとコミュニケーション、キーパーソンとの誰と繋ぐと良いのか等が重要、PDIE は色々なコネクションルートがあるので支援出来る
- 日本の技術者は完璧を求めるけど、時間がかかるから完璧じゃなくても早めに出し、フィードバックを求める方が良い。
- 最後は個人、自分の環境の中でどうパーパス経営に繋げていくのかを考える事が重要。

以上